

秩父 市議会だより

第9号

発行
秩父市議会
編集
市議会だより編集委員会
秩父市議会事務局
☎ (25) 5224
FAX (24) 2594
URL <http://www.city.chichibu.lg.jp>



〈大滝公民館〉

“笑顔をやさず” をモットーに

コーラス部 毎月2回(第1・第3火曜日の夜) 大滝公民館3階において練習し、コーラスフェスティバル・福祉施設訪問等を発表の場とし、美容と健康を目標に笑顔をやさず頑張っています。

(大滝公民館では、教室等サークルを含め17のグループが楽しく活動しています。
あなたの参加をお待ちしております。)

正副議長選出

平成19年6月8日



副議長
小櫃 市郎



議長
井上 十三男

今定例会において、6月8日に正副議長から辞任届けが提出され、正副議長の選挙が行われました。議長に井上十三男議員、副議長に小櫃市郎議員が選出されました。それにより、建設委員会、議会運営委員会、危機管理・ダム対策特別委員会に変更があり、下段のように決定しました。

議長あいさつ

市民の皆様には、当市議会に対し、深いご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

私どもは去る6月定例議会において、議長、副議長に選任いただき就任いたしました。その責務の重大さを痛感し、身のひきしまるものがあります。

この認識のもと、円滑な議会運営と市政発展のため、誠心誠意努力してまいりますので、なお一層のご支援をお願い申し上げます。

秩父市も合併をしてから2年がたちました。合併の際に新しいまちづくり計画を策定し、昨年この計画を取り入れながら、秩父市第一次総合振興計画が議会で承認されスタートいたしました。この計画は、将来の秩父市にとって大変重要な計画であり、議会としても、十分に議論を行ない、当局との車の両輪として、新しいまちづくりを進めて行きたいと思っております。

さて、今年も羊山公園の芝桜に102万人の来客がありました。推定30億円の経済効果があったと言われております。なお一層観光客の誘致に努力し、また新たな資源の活用を努めたいと思っております。

また、大田地区と吉田地区にまたがる県の工業団地も満区画となり、雇用の促進に明るい希望が見えてきました。急速に進む高齢化社会に対応した諸施策も順次進められており、助けあい・温もりのまちをめざして対応を進めているところでございます。

しかしながら、昨今の景気の低迷にも、やや回復のきざしが見え始めたとはいえ、当市をめぐる諸条件は引き続き厳しいものがあります。市民の皆さんとともに今日まで築きあげてきた大切な社会環境をもとに、生きがいをもって暮らせる施策を広く市民の皆さんと協働のまちづくりを展開し、山積する諸事業を解決すべく市当局ともども努力してまいります。

今後においても、市民各位の一層のご支援をお願い申し上げます。あいさつといたします。

建設委員会は、委員長の小櫃市郎議員が副議長となったため、委員長に笠原重男議員が選任されました。議会運営委員会は、井上十三男議員が議長となったため、新しく今井武蔵議員が委員となりました。危機管理・ダム対策特別委員会は、新しく笠原重男議員と須田博議員が委員となりました。

会派名簿

| | |
|---------------------|---|
| 市民クラブ | 新井 兄三郎・笠原 重男・浅海 忠・江田 治雄・笠原 宏平・小櫃 市郎 落合 芳樹・逸見 英昭・高野 勝盟・宮田 勝雄・高野 幸雄・内田 修司 荒船 功・須田 博 |
| 自由民政クラブ | 中村 義一・今井 武蔵・金田 安生・新井 豪・久喜 邦康・高野 安之 |
| 日本共産党秩父市議団 | 出浦 章恵・新井 康一・斎藤 捷栄 |
| 公明党 | 富田 恵子・福井 貴代 |
| 新社会党秩父市議団 | 金崎 昌之・坂本 文雄 |
| 無党派 (議長は会派に属さない) | 新井重一郎・井上十三男(議長) |

6月 定例会

秩父市まちづくり景観条例・・・原案可決

専決処分10議案・・・承認



秩父市議会6月定例会は、6月8日から6月22日までの15日間を会期として開かれました。

この6月議会では、市政全般に対する一般質問に16名の議員が登壇し、市政発展のための活発な論議が展開されました。審議した議案は、初日(8日)市長から提出された15件、最終日(22日)に追加議案として4件、議員から提出された2件の合計21件の議案です。上程された議案は、原案可決・承認・同意されました。

6月定例会 会期日程

- 6月 8日 ○開会 ○会議録署名議員の指名
- 会期の決定
- 諸報告
- 市長提出議案の報告
- 議案第41号から議案第55号まで一括上程、説明
- 9日 ○休会(土曜日)
- 10日 ○休会(日曜日)
- 11日 ○休会(議案調査・一般質問ヒアリング)
- 12日 ○休会(議案調査・一般質問ヒアリング)
- 13日 ○議案に対する質疑
- 14日 ○請願・陳情
- 15日 ○市政に対する一般質問
- 16日 ○休会(土曜日)
- 17日 ○休会(日曜日)
- 18日 ○市政に対する一般質問
- 19日 ○委員会
- 20日 ○委員会
- 21日 ○休会(事務整理)
- 委員長報告
- 委員長報告に対する質疑
- 22日 ○討論 ○採決 ○閉会

議会 日誌

- 4月 16日 議員クラブ連絡会
- 危険管理・ダム対策特別委員会
- 5月 15日 危険管理・ダム対策特別委員会
- 16日 宮崎県西都市議会来秩
- 17日 埼玉県飯能市議会来秩
- 18日 有害鳥獣対策等調査特別委員会
- 21日 危険管理・ダム対策特別委員会
- 31日 議会運営委員会
- 本庄市議会来秩
- 6月 8日 定例会開会
- 22日 議会運営委員会
- 定例会閉会
- 7月 29日 議会だより編集委員会
- 3日 愛知県三好町議会来秩
- 4日 岩手県久慈市議会来秩
- 6日 山口県山陽小野田市議会来秩
- 9日 議員クラブ連絡会
- 19日 京都府福知山市議会来秩

6月 定例会

審査した議案の結果

| 上程月日 | 議案番号 | 件名 | 会派の態度 | | | | | |
|-------|----------|---|-------|-----|-----|-----|-----|-----|
| | | | 市民ク | 自民ク | 共産党 | 新社会 | 公明党 | 無会派 |
| 6月8日 | 第41号 | 専決処分について(秩父市税条例の一部を改正する条例) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 6月8日 | 第42号 | 専決処分について(秩父市都市計画税条例の一部を改正する条例) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 6月8日 | 第43号 | 専決処分について(秩父市保育の実施に関する条例の一部を改正する条例) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 6月8日 | 第44号 | 専決処分について(秩父市高齢者ホームヘルプサービス事業の運営に関する条例の一部を改正する条例) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 6月8日 | 第45号 | 専決処分について(平成18年度秩父市一般会計補正予算(第6回)) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 6月8日 | 第46号 | 専決処分について(平成18年度秩父市国民健康保険特別会計補正予算(第3回)) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 6月8日 | 第47号 | 専決処分について(平成18年度秩父市介護保険特別会計補正予算(第4回)) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 6月8日 | 第48号 | 専決処分について(平成18年度秩父市下水道事業特別会計補正予算(第3回)) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 6月8日 | 第49号 | 専決処分について(平成18年度秩父市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3回)) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 6月8日 | 第50号 | 専決処分について(平成18年度秩父市戸別合併処理浄化槽事業特別会計補正予算(第3回)) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 6月8日 | 第51号 | 市道の認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 6月8日 | 第52号 | 市道の路線変更について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 6月8日 | 第53号 | 彩の国さいたま人づくり広域連合を組織する地方公共団体の数の減少について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 6月8日 | 第54号 | 秩父市手数料徴収条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 6月8日 | 第55号 | 秩父市まちづくり景観条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 6月22日 | 第56号 | 秩父市教育委員会委員の任命について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 6月22日 | 第57号 | 秩父市教育委員会委員の任命について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 6月22日 | 第58号 | 人権擁護委員候補者の推薦について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 6月22日 | 第59号 | 秩父市固定資産評価員の選任について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 6月22日 | 議員提出第22号 | 山小屋における軽油引取税の免税を求める意見書 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 6月22日 | 議員提出第23号 | 日豪EPA・FTA交渉において日本の農業維持に向けた行動を求める意見書 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

市民ク (市民クラブ 14名)
 自民ク (自由民政クラブ 6名)
 共産党 (日本共産党秩父市議団 3名)
 公明党 (公明党 2名)
 新社会 (新社会党秩父市議団 2名)
 無会派 (会派に属さない議員 2名)
 ※議長は会派に属さない

○ 賛成
 □ 賛否
 ※賛成人数/会派人数
 × 反対

| 陳情の内容 | |
|--------------------------|---------------------------------------|
| 要旨 | 陳情者 |
| マナーゴミ箱設置条例について | 新井 英二 |
| 認定子ども園(認可外保育所)設置についてのお願い | 学校法人光学園 大畑幼稚園 小澤 光男 外16名 |
| 認定子ども園(認可外保育所)設置についてのお願い | 学校法人光学園 大畑幼稚園父母の会 会長 大川 昭 外461名 |
| 南学童保育室に関する陳情 | 筑井 美鈴 外68名 |

市民の皆さんから6月定例会に提出された請願は1件であります。
 この請願は、生活産業委員会(1件)に付託され、慎重審査の結果、下記のとおり決定しました。また、陳情については4件提出されました。

請願・陳情

| 請願の内容 | | |
|---------|-------------------------------------|----|
| 付託委員会 | 請願名 | 結果 |
| 生活産業委員会 | 日豪EPA・FTA交渉において日本の農業維持に向けた行動を求める請願書 | 採択 |

●意見書の提出●

6月定例会最終日の本議会において、議員提出議案の意見書2件が提出され、審査の結果原案のとおり可決されました。可決された意見書は、内閣総理大臣をはじめ、関係行政庁等に送付されました。

内容については下記のとおりです。
○山小屋における軽油引取税の免税を求める意見書
○日豪EPA・FTA交渉において日本の農業維持に向けた行動を求める意見書

●山小屋における軽油引取税の免税を求める意見書

- 1 環境省においては、山小屋における発電施設で使用する軽油の軽油引取税について、索道事業・ゴルフ場業と同様に、免税措置を実施するよう税制改正の要望をすること。
- 2 関係省庁は、山小屋における軽油引取税についての免税措置導入に向け、各機関の枠を超え、調整と尽力を図ること。

●永年勤続表彰●

去る5月30日に開催された埼玉県市議会議長会及び6月19日に開催された全国市議会議長会の各総会において、永年勤続表彰が行われました。当市議会は以下の方が表彰されました。

●日豪EPA・FTA交渉において日本の農業維持に向けた行動を求める意見書

- 1 日豪EPA・FTA交渉にあたっては、米、小麦、牛肉、乳製品、砂糖などの農林水産物の重要品目を除外するとともに、万一、これが受け入れられない場合は、交渉を中断すること。
- 2 農産物貿易交渉は、農業・農村の多面的機能の発揮と国内自給による食料安全保障の確保を基本とし、各国の多様な農業が共存できる貿易ルールを確立すること。



井上十三男
議員



新井兄三郎
議員



須田 博
議員



坂本 文雄
議員



高野 安之
議員

「埼玉県・全国議長会
表彰 20年以上」

「埼玉県・全国議長会
表彰 15年以上」

●会議録の閲覧について

秩父市議会会議録の閲覧が秩父市ホームページからできるようになりました。ぜひご利用ください。

<http://www.city.chichibu.lg.jp>

●人事案件●

任期満了に伴う、秩父市教育委員の任命、人権擁護委員候補者の推薦および固定資産評価員の選任について意見を求められ、市議会は次の方を適任と認め同意することに決定しました。

秩父市教育委員会委員

久保 忠太郎(中町)

秩父市教育委員会委員

加藤 敏昭(永田町)

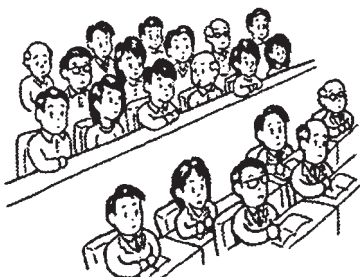
人権擁護委員

新井 庄太郎(吉田阿熊)

固定資産評価委員

町田 恵二(上町)

●市議会を傍聴してみませんか●



市議会は、毎年3月、6月、9月、12月の4回の定例会と必要に応じ臨時会が開催され、市民の皆さんに直結した議案・請願等を審議します。

市民の皆さんが選んだ代表がどんな活躍をしているか、市議会を傍聴してみませんか。

※次の定例会は**9月5日**開催予定です。

市民の声を市政に反映 一般質問

6月定例会における市政に対する一般質問は、6月14日、15日、18日の3日間で、市政全般について質問が行われました。登壇した議員は16名で、質問・答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問発言者氏名

質問については各委員会別に分類し、要旨を掲載しました。(質問者は右から発言を行った順)

| | |
|-------|-------|
| 新井 豪 | 中村 義一 |
| 今井 武藏 | 高野 安之 |
| 福井 貴代 | 新井 康一 |
| 斎藤 捷栄 | 金田 安生 |
| 坂本 文雄 | 金崎 昌之 |
| 富田 恵子 | 出浦 章恵 |
| 久喜 邦康 | 新井重一郎 |
| 逸見 英昭 | 荒船 功 |

総務関係

財政援助団体

問 サンセット方式(特定の政策や事業について期限を定め、議会等の存続に向けた積極的な議決等の意思表示がない限り、自動的に廃止する)の採用で思い切った改革をすべきだと思いが、当局の考えは。
答 補助金の適正化を図るため、財政健全化計画において、サンセット方式を含めて検討したい。

バランスシート

問 当市の財政状況をバランスシートで公表したが、これだけでは市民に分かりにくい。行政コスト計算書を作成して、各事業の市民一人あたりの行政コストを公表すべきと思うが、当局の考えは。
答 作成する方向で検討したい。

マニフェスト 条例の制定を

問 マニフェスト条例を制定すれば、市長選は制作費の公費負担が認められる。政策競争主体の選挙を求めて、早期の制定を。
答 早期に制定したい。

新しい まちづくりについて

問 合併後2年が経過したが、新市まちづくりの進捗状況は。また、市有財産の効率的な活用観点から、車両の効率的な配置についてどう考えているか。
答 行政評価システムを有効に活用して進捗状況をチェックし、計画的に実施し、目標に向けて鋭意努力していく。

増税とその影響

問 2年連続の大増税と税源移譲が市と市民に与える影響は。また、市民への負担軽減策は。
答 市税収は約7億円の増加。市民の実質的負担増約2億円。負担軽減は激変緩和措置で。

市の行政サービスの 総点検

問 行財政改革と並行し、行政サービスの総点検の取組は如何。
答 4月に組織改正し、行革と併せ行政評価システムを実施。

バス路線について

問 吉田のデマンドバスと市内への直通バスの進捗状況及び大

滝地域のバス路線の今後は。

答 デマンドバスは吉田地域全体を対象に早期導入を検討中。直通路線は寺尾線と併せてバス会社と協議中。大滝地域も今後適正な形を研究したい。

三峰駐車場問題 事実確認

問 市報新秩父市における三峰山駐車場周辺整備工事に関する事実の報告から三峰山駐車場に關わる諸問題について。
答 合併のドサクサの最中、村有三峰山駐車場を村長個人等が所有する民営資産としてしまう。村の公金を大量投入して場内完全整備したこと、議会の議決まで経て手中に収めた第三セクターの株式、非常に利益率の良い土地を二年間位で手放したこと。収入役が契約会社の社長である経歴は公表しない、事例が全国であるか。

三峰山駐車場 関連問題について

問 市町村合併の時期に、当局の十分な説明の無いままに承認した駐車場整備は問題。また、同工事で実施した三峰神社所有の神領民家の文化財指定を証明する資料が無い理由は。
答 第三セクターだった会社が民間企業化し、その会社の所有物となった駐車場と周辺整備を公費で整備したことはまずかつたと思う。反省している。

政策入札

問 環境配慮、障害者雇用、男女共同参画、公正労働など価格以外の社会的価値を含めた総合評価方式による入札の現況は。
答 県の指導の下、総合評価方式による入札を試行的に導入する予定。

問 埼玉県測量設計業協会から総合評価方式採用の要望は。
答 要望は受けていない。

問 物品調達現況は。
答 総合評価方式の試行導入を契機に、検討する。

問 吉田のデマンドバスと市内への直通バスの進捗状況及び大

答 イ、全国での事例はない。口、説明なし。

入札制度について

問 予定価格を非公開に変更する意味は。工事入札の方法と公表を部材別に行ったらどうか。

答 予定価格の非公開は国の指導致に基づいて決めた。部材別入札を行っている自治体は無い。今後の研究課題としたい。

公共施設

問 影森公民館、原谷保育所の改修計画は。

答 影森公民館については、雨漏りや不具合が生じた箇所はその都度修繕している。水資源機構荒川ダム事務所が撤退していくことを含め、旧大滝、荒川の人々の使用も視野に300人収容の施設等地元の代表者とも相談して検討していきたい。原谷保育所については今後の課題としたい。

集会所等

建設補助金の見直し

問 身近で集える場として、公会堂等の果たす役割は、高齢化の進展と共に大きくなる。老朽化に伴う小規模改修にも対応できるように、制度の見直しが必要。

答 補助率の改定を含め、支給基準の見直しを検討。

公共施設の活用

問 公共施設で、物品販売を行う活性化を図る考えは。

答 商品トラブルが起こった時、市の責任を問われかねないので、限定的に販売を認めている。

市民対話集会の開催

問 市政を一層身近なものにするため市民対話集会の開催は。

答 今年度「地域懇談会」を小学校区単位で14回、商工関係者スポーツ関係者を対象に2回開催したい。

ミュージズパーク スポーツの森

問 市報5月号の市長コラムに「スポーツの森は黒字だ」との発言があったが、実際に黒字になるのは来年度予算からであり、本年度は約一億円の赤字である。市営スポーツの森に予算を投じる事に賛成であるが、市長として「負」の部分も補足説明する責任があるのでは。

答 (無関係なコメントのみで、質問に対する答弁は頂けず。)

文化行政

問 心動かす芸術文化のまちづくりの担当は。

答 市長室ふると創造課で、秩父芸術祭を中心に芸術文化活動を支援し、芸術文化の創造を目指していく。

改正パート労働法

問 市パート職員は対象か。改正規定に該当しない。

火葬場について

問 火葬場候補地について、長尾根、ミュージズパーク付近は。

答 広域市町村圏組合では現在地への建設を検討している。

建設関係

公共施設

問 公共施設のアスベスト対策は。昨年規制が強化されたがその対策は。

答 平成17年8月から、学校市有施設を調査し、基準を上回る

景観条例

問 中町・本町通り整備事業にこの度の景観条例はどのように関わってくるのか。

答 「景観形成重点地区」への指定を視野に入れている。

高齢者の交通事故増と 道路安全

問 「新皆野橋」開通などの交通事情の変化と、高齢者の交通事故多発の中で、道路整備も一層安全に配慮することが必要。

答 道路事業実施にあたっては、費用対効果と地形的条件が重要

整備事業が進む中町・本町通り

市営住宅の建設について

問 みどりが丘工業団地周辺地域の活性化につながるような施策の1つとして市営住宅の建設は考えられないか。

答 地域への定住促進は活性化に必要なこと。住宅需要を的確に把握し整備を進めていく。

おいしい水の 供給継続を

問 橋立浄水場の改修においては、現在の緩速濾過方式を主にした施設が求められている。

答 現在7の緩速濾過槽を6にし、今までの体制を守る。

改修が予定されている橋立浄水場



影森公民館



生活産業関係

子育て支援

問 パパ・ママ応援ショップの取り組みについて。

答 本年8月1日から実施。市内の利用対象者は、中学校修了までの子どもを持つ家庭や出産予定の家庭で、およそ7,000家庭。和銅奉獻千三百年記念事業として、和同開珎を使った子育て支援も検討する。

問 ふれあい学校の待機児童について。

相談窓口について

問 外国籍住民の相談窓口は。

答 当面は県国際交流協会の「外国人ヘルプデスク」を活用。将来的には、外国人相談窓口の設置についても検討していく。

問 多重債務の相談窓口強化は。相談は増加傾向にある。無料の消費生活相談(月・水・金)や法律相談の窓口があることを市報等で伝え、庁内体制を強化

保育所の民間委託

問 市立保育所の民間委託について、どのような考え方をしているのか、現状を聞きたい。

答 原谷、大野原保育所の統廃合を検討しているが、先ず、高篠保育所について、民間委託を行う方向で検討している。



民間委託が検討されている高篠保育所

深刻な有害鳥獣被害と対策

問 各地区の獣害は農家が意欲を無くし深刻。現状と対策状況を

答 地区毎に獣害捕獲を猟友会に委託、団体管理の取組が急務又、捕獲後の管理対策を検討中。

ゴルフ場と日照権の問題

問 「ゴルフ場の木が大きくなって日当たりが悪く困った」という声があるが、現況と対応は。

答 樹木が日照を阻害する事例があった。良好な生活環境の確保に向けて対応していきたい。

秋のGW構想について

問 秋の観光誘客対策は。

答 青年会議所による秩父舞祭、番場の表参道祭、吉田の龍勢祭、大滝の紅葉祭等が行われている。

秩父市文化団体の現状と統合

現状と統合

問 4地区各団体の統合取組は。現状活動を維持し統合実施。

問 環境立市秩父をめざして

問 河川の岩盤化と釣り客数は。県や国土交通省へ岩盤化防止にむけた働きかけを行っている。

答 釣り客は5年間で約4万2,000人から2万8,000人へ減少した。

問 バイオマス発電の採算性は。伐材を使った発電の採算性は厳しいのが現状。

問 ゴミの再資源化率は。5年間で約十九%前後。

問 各種環境団体の連携は。ワークショップを開催して連携を図るよう行政努力をする。

問 企業の環境への取り組みは。環境負荷の軽減を行い生産性と経営効率の向上した四企業を紹介。

問 環境重視がどのように経済回生につながるか。

答 今後環境ビジネスはますます発展する現状であり、環境重視と経済回生は一つにつながる。

問 グリーン電力証書は。

答 太陽光発電の普及啓発とバイオマス発電に対して、この制度への研究をしていきたい。

問 LEDで秩父の夜に輝きを。地元のLED製造企業の協力で夜の秩父を演出したい。



岩盤化が進んでいる佐久良橋付近

住宅リフォーム助成の見直し

助成の見直し

問 人気の高い住宅リフォーム助成事業だが、市民がより利用しやすい、また広く小規模事業者や商業者支援に寄与できるように、施行業者の範囲を単に「市内業者」とするなどの見直しを。

答 「利用しやすい」という点は、「助けあい温もりのまち」を進める秩父市として大切。また、助成金を「和同開珎」での提案は画期的だが、市民要望も考慮し、慎重に検討したい。

環境事業は生活に連動すべき

問 現在バイオマス発電は、チップを購入し稼働しているが、間伐材や廃材をチップ化する製造設置の考えは。

答 製造機設置の計画あり。
問 廃食油再生事業の内容は。
答 今回は環境学習の施設で小規模。今後は市内全体から収集する事業を検討する。

文教福祉関係

子どもの医療費

問 来年1月から県の補助対象年齢が上がるが、無料化の対象年齢をさらに拡大できないか。

答 県にとらわれず、財政状況を考慮して検討したい。

障害者対策について

問 就労支援センターの増員と県自立支援特別対策の対象は。
答 増員は今後検討したい。県事業は現在「日の出」1ヶ所。

秩父市立病院の現状と改善

問 職員医師等の給与削減と対応、増員の成果、専門科目充実し高度な医療提供と医師研究は。

答 60年振りの給与見直しで引き下げ。医師に研究手当を支給増員で医療の充実、職員研修成果あり、医師の学会発表に2件、学会誌掲載7件機能評価認定で全員の意識向上。

広域救急対応と広域医療体制

問 広域救急診療体制と広域医療体制への県等の支援体制は。

答 医師、看護師の不足が難点。医療の進歩、患者のニーズ対応。秩父の4病院で連携し対応。広域医療は県の支援で取組を要請。

「薬物乱用防止対策」について

問 秩父の若年層に薬物が想像以上に回っている中、小中学校でどんな対策を講じているか。

答 秩父では全小中高校で薬物乱用防止教室を開催し、教職員に対しても研修会を行っている。

生活保護の実態と諸問題

問 被保護世帯数と人数は。

答 本年3月31日現在で保護世帯数は379世帯、551人となっていて、増加傾向にある。今後高齢化が進む中で、年金受給額の少ない世帯の増加が見込まれており、全国的にも増加傾向にある。

少人数学級について

問 建設中の校舎は外壁や天井に断熱材を使用、通風や遮熱を考えた構造で約30%の効果が期待できる。更に敷地内の緑化整備を行うなど、夏季の室温上昇抑止対策を考えている。

問 少人数学級実施の検証をどう受け止めているか。

答 よりきめ細やかな個に応じた指導が可能となり、子ども一人一人の個性を伸ばすと共に、学力の向上にも効果的であると、言う報告もされている。少人数学級や少人数指導を行うことは、子どもに寄り添い、その子どもが持っている本来の力を引き出すために効果的であると考えているが、一方、子どもたちの社会性を育むという点では、一定数の学級規模であることも必要。一概に少人数であれば良しと評価することは難しいと考える。

後期高齢者医療制度について

問 対象者は何人いるのか。

答 平成20年度からは、国民健康保険や社会保険に加入している75歳以上の方は全てこの医療保険制度の被保険者となる。

問 秩父市における対象者は、本年5月現在で約5,700世帯、9,450人と見込まれている。

学習環境の充実について

問 市内小中学校の教室は夏の室温が37℃38度にもなるという暑さ対策等の考えは。

夏休みの短縮について

問 暑さ対策の具体的方策は。

答 老朽化した学校施設の改築、改修のために莫大な財政投資をしているところ。整備充実が図られた後に新たな学級編成の検討に向かえるよう考えている。

学校改革について

問 地域に開かれた学校をめざし、「学校評議員」「学校自己評価」「外部評価」制度が導入されている。これ等の現状は。

答 前二制度の委員からは忌憚のない意見を頂き成果を上げている。後の制度は、現在行っていない。

理科教育の充実、新教育システムの開発

問 県公募の「小学校理科支援員等配置事業」を利用しては。

答 今年度、南小学校で行う。新教育を推進するため、国公募の「新教育システム開発プログラム事業」に応募しては。



教室内に設置された暑さ対策の扇風機

問 今年度は半日授業で実施。小学校は最上階の普通教室に扇風機を一台ずつ増設工事をする。

近未来秩父市の教育環境

問 応募に向け研究していく。右目的を達成するため「地域人材バンク」を構築しては。

答 地元企業、NPO、退職教員等の協力を得て、検討していく。

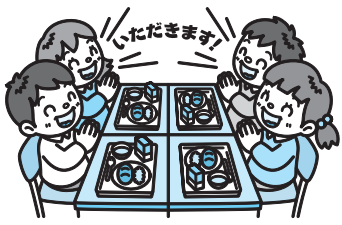
問 数年後の複式学級は。

答 大滝小学校で三学級複式。大滝中学校で一、二学年の複式。生徒数減少による秩父地区における県立高等学校の再編は、高校の存続は地元の熱意と支援が必要。郡、市当局の県当局への積極的働きかけが肝要。

学校給食について

問 アレルギー体質の生徒に県内では別給食が多く出されているが秩父市は。新鮮な食材と地域活性化に向けた地産地消は。

答 アレルギー対応は研究する方向。地産地消は努力している。



員会の動き

6月定例会における常任委員会は、6月19日に行われました。議案の付託先は、総務委員会に議案5件、建設委員会に議案5件、生活産業委員会に議案4件・請願1件、文教福祉委員会に議案4件が付託され、それぞれ慎重審査されました。

なお、審査の内容については下記のとおりです。

総務委員会

◆専決処分(秩父市税条例の一部を改正する条例)

◆専決処分(秩父市都市計画条例の一部を改正する条例)

◆専決処分(平成18年度一般会計補正予算(第6回)所管費目)

◆繰越明許費について、合併推進体制整備費として今回の繰越明許費であがってきた関係はその資金を取るのが難しいのか

◆この補助金の名称は「合併推進体制整備費補助金」というもので、合併した市町村に対し人口割りで交付されるもので、秩父市としての交付金額の合計は、4億5,000万円を見込んでいる。

◆また合併後10年間をめどに交付される補助金になっており、平成18年度の国の補正予算で計上されたもので、平成17年度当時で合併した市町村に大方この補助金がついたため、平成19年3月に秩父市として、3億300万円の補正をしたものを、明許したもので国もこの事業の明許繰越は了承している。

◆携帯電話用鉄塔設備工事の事業費の減額理由は、大滝、吉田地区の不感地域

解消のための携帯電話鉄塔設備工事が終了したことに伴い、事業費が確定されたための減額。

○以上3件は、いずれも承認する。

◆彩の国さいたまづくり広域連合を組織する地方公共団体の数の減少について。

◆秩父市手数料徴収条例の一部を改正する条例について。

○以上2件はいずれも原案のとおり可決。

◆建設委員会

◆専決処分(平成18年度秩父市一般会計補正予算(第6回)所管費目)

◆県支出金の土木費補助金、衛生費の上下水道事業費、教育費の小中学校建設費及び土木費。繰越明許費として道路橋りょう(10事業)、都市計画費(6事業)、住宅費(1事業)については、承認する。



中津川携帯電話用鉄塔

建設委員会

◆専決処分(平成18年度秩父市一般会計補正予算(第6回)所管費目)

◆県支出金の土木費補助金、衛生費の上下水道事業費、教育費の小中学校建設費及び土木費。繰越明許費として道路橋りょう(10事業)、都市計画費(6事業)、住宅費(1事業)については、承認する。

◆専決処分(平成18年度秩父市下水道事業特別会計補正予算(第3回))

○承認する。

◆市道の認定について

▽中央637号線(大畑町)

◆市道の路線変更について

▽荒川上田野30号線(栃久保)

▽荒川上田野140号線(栃久保)

○以上道路関係2件の議案はいずれも原案のとおり可決。

◆秩父市まちづくり景観条例

○原案可決。



今回議論された大畑地内の市道

生活産業委員会

◆専決処分(平成18年度秩父市一般会計補正予算(第6回)(所管費目)

◆聖地公園の収入は増えているのか。

◆従来と販売方法を変え将来のために備えたいという方へ販売している。

◆角地に区画を増やす等で売り上げも伸びており、前年度より少し増えている。

◆専用線型高速通信回線利用料金補助金が大幅減額となった理由は、

◆補助事業予定地域にBフレッツ回線が開通したこと、予定していた企業が補助対象限度額に達しなかったことによる。

○承認する。

◆専決処分(平成18年度秩父市国民健康保険特別会計補正予算(第3回))

◆出産育児一時金はどのようになっているか。

◆出産育児一時金は当初1人あたり32万円で120人の見込みであったが、最終見込み人数は95人、昨年10月から3万円増になり、32万円が53件、35万円が42件となっている。

○承認する。

各委員会・特別委



墓地の販売を進めているやすらぎの丘事務所

◆専決処分(平成18年度秩父市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3回))
○承認する。

◆専決処分(平成18年度秩父市戸別合併処理浄化槽事業特別会計補正予算(第3回))
○承認する。

〈請願〉

◆日豪EPA・FTA交渉において日本の農業維持に向けた行動を求める請願。

○慎重審査の結果、採択すべきものと決定。

文教福祉委員会

◆専決処分(秩父市保育の実施に関する条例の一部を改正する条例)
○承認する。

◆専決処分(秩父市高齢者ホームヘルプサービス事業の運営に関する条例の一部を改正する条例)
○承認する。

問 介護保険法の改正に伴う金額の説明。

答 週1回のホームヘルプサービスを受けた場合、3,085円になり、その内の1割である310円を利用者が負担することになる。

○承認する。

◆専決処分(平成18年度秩父市一般会計補正予算(第6回))(所管費目)

問 児童手当の減額の理由は。

答 昨年度に法改正があり、対象が小学校修了までと拡大されたが、当初の見込み数よりも申請が少なかったからである。

問 予防接種医師報償金の減額理由は。

答 日本脳炎の予防接種は、リスクが多いことから、一昨年から減少傾向にあるため減額となった。

問 私立幼稚園就園奨励費補助

金の減額の理由は。

答 当初予算を見込んだ時は、補助率の上乗せのある第2子以降の扱いの子どもが、前年度より大幅に増加する予想だったのが、第2子以降の扱いの基準が決定し、当初予想より少なくなったため減額となった。

○承認する。

◆専決処分(平成18年度秩父市介護保険特別会計補正予算(第4回))

問 紙おむつの支給費の減額の理由は。

答 対象者が非課税世帯のみになったためである。

○承認する。



議案で審議された私立幼稚園

危機管理・ダム対策特別委員会

平成19年3月定例会から6月定例会までに開催された3回の委員会について、次のとおり報告する。

第9回委員会(4月16日)

二瀬ダム・滝沢ダムの現況と今後の協議事項として取り上げるべき課題について現地調査を行い、その後、協議を行った。

この委員会において出された意見等については、次回委員会において、当局等の出席を求め、協議することとした。

第10回委員会(5月15日)

この委員会開催については、滝沢ダム土砂崩落にともない、急きょ開催された。開催目的として、現地調査と各関係機関の説明聴取のみとし、今後の対応については、次回の委員会までに意見を持ち寄ることとした。

第11回委員会(5月21日)

第9回・第10回委員会において課題及び問題となっている、二瀬ダム・滝沢ダム等について協議を行った。

・滝沢ダムについて

土砂崩落に伴う対応については、今後の調査内容によって安全対策の方向性が決まるものと

思われるが、将来に向けて安全性の高い選択を要望し、実施していただきたいとの意見が出された。

・二瀬ダムについて

地すべり関連について地域住民対応と地元説明会の内容については、今までの経過等を踏まえる中で、住民の意見を聞き入れるべきであり、当局との連携のもとで進めるべきであるとの意見が出された。

問 滝沢園地(滝沢ダム左岸側)全体の決定事項と活用方法について、園地事業の進め方として契約書はいつごろ作成されたのか。

答 平成元年3月の整備計画に位置づけ実施されてきたもので、あらためて平成17年3月に確認書の取り交わしがされた。

問 事業主体はどこか。

答 滝沢園地については、埼玉県が主体となって進めており、その中のセンター棟は埼玉県園地の基盤整備は水資源。

完成後は秩父市となっている。

問 この建物等の管理については今後どういう体制になるのか。

答 この施設は、直営、委託、NPO、公募等を考える中で、仮称ではあるが「管理運営委員会」を立ち上げ、委員会の意見等を踏まえながらその運営等を

考えている。

問 管理委員会は早急に立ち上げるべきでは。

答 センター棟等の運営に関しては「浦山ダム方式」がベストと考えており、それを参考に進めていく方向で検討している。今後とも危機管理の観点から調査研究の必要を認め、継続審査することに決定した。

有害鳥獣対策等調査特別委員会

4月23日委員会開催、農業委員会が実施した、鳥獣の農作物被害における実態調査のまとめ、および昨年9月に発足した有害鳥獣対策プロジェクトの報告について、当局関係職員の出席を求め、調査研究をおこなう。

農業委員会では、ここ数年野

生鳥獣が数を増し、農作物への被害が増加していることから被害の実態を把握するために、各農家に伺い被害状況について、平成18年1月から12月までの間に起きた被害をまとめた。被害面積27.9ヘクタール、作物別被害・芋類24パーセント、竹の子20パーセント、ぶどう・プラム18パーセントほか、野菜類。また鳥獣別に見た場合、イノシシ48パーセント、サル29パーセン

ト、ハクビシン6パーセント。今回、実態調査面積には数えない畑に、毎年サルやイノシシ等に荒らされて、作物を作る事があきらめたことによる耕作放棄地が多くあり、鳥獣による被害の切実な実情が伺えた。

次に、野生鳥獣による農作物への被害が拡大するなかで、サル・イノシシ・シカ等に加えクマの異常な出没があり、人に対する被害も懸念されることから昨年9月に立ち上がった、有害鳥獣対策プロジェクトの報告書を基に、被害対策における具体的な取組みの検討を行い、国、県に要望して行きたいとの報告があった。

今年度、有害鳥獣対策を進めるうえで、予算について、報償費と委託料について、新たに予算が計上された。

その中でサルの捕獲は、新たに報酬金制度を取り入れて猟友会による百頭の捕獲を見込んでいた。また、バネ式ワナの購入についても予算計上された。

次に荒川地区において鳥獣被害ネットの設置工事を県の補助事業として1キロメートルにわたりに行う。また、農家が鳥獣被害防護のため電気柵の設置については、設置経費の2分の1以内で10万円を限度として補助を

する。防護柵設置は、2分の1で5万円を限度として補助を行う。

5月18日 委員会開催、捕獲許可申請及び、被害状況につき市当局より説明を受けた。許可申請は、市職員が被害現場の確認を行った後に町会からは害獣駆除申請書が市に届けられ、市では猟友会に許可申請を出し有害鳥獣の捕獲を行っている。

今年度は、昨年と比べ鳥獣被害が増加傾向にあり、今後農作物の収穫期を迎え、猟友会の協力により、個体数を減らし、同時に農産物被害を減らすため、今後とも先進地の視察を初め、関係機関の協力をいただき、被害の実態について調査研究する必要を認め、閉会中の継続審査と決定した。

市民の皆様には今後とも、この「議会だより」をご愛読頂き、我々議員の活動や発言に一層ご注目頂きたいと存じます。

新井 豪 記

「秩父の祇園」川瀬祭も盛況に行われ、深緑の真夏を迎えました。

市議会においては、新しい会派が結成され、今までにない活発な議論が交わされました。そして今までにない傍聴者数を記録し、議会の活性化が大きく進んだと実感しております。

気骨と愛嬌があり、国民から愛された故・荒船清十郎・元運輸大臣がこの秩父に生誕され、ちょうど百年が経ちます。

彼のように、愛すべきキャラクターを持ち合わせた議員がこの議会にも揃っていると思えます。

新井 豪 記



編集後記

「秩父の祇園」川瀬祭も盛況に行われ、深緑の真夏を迎えました。

市議会においては、新しい会派が結成され、今までにない活発な議論が交わされました。そして今までにない傍聴者数を記録し、議会の活性化が大きく進んだと実感しております。

気骨と愛嬌があり、国民から愛された故・荒船清十郎・元運輸大臣がこの秩父に生誕され、ちょうど百年が経ちます。

彼のように、愛すべきキャラクターを持ち合わせた議員がこの議会にも揃っていると思えます。

新井 豪 記

編集委員

- 委員長 坂本 文雄
- 副委員長 笠原 宏平
- 委員 斎藤 捷栄
- 新井重一郎
- 新井 豪
- 福井 貴代